

平成 25 年度 岡崎市予算編成方針

基 本 方 針

経済情勢については、平成 20 年 9 月以降の急激な景気の悪化や昨年 3 月 11 日に起きた東日本大震災の影響からは、緩やかながら回復の兆しがあり、歳入の根幹である税収についても若干の回復が見込まれるところであるが、依然として厳しい財政環境にある。

一方、社会保障関係経費は依然増加傾向にあり、また、床上浸水対策特別緊急事業や継続的に進めている大型事業は引き続き推進を図り、市民福祉の維持・確保に努めていかなければならない。

そのため、予算編成に際しては、各種財政指標にも配慮する中で、引き続き財政調整基金や市債を積極的に活用するなど、出来る限りの歳入確保を図ることとする。また、昨年度に続き枠配分方式を採用し、限られた財源を合理的に配分して歳入と歳出の乖離を埋める一方、枠の中では各部署の裁量と工夫により、内容の充実した予算を編成することとする。